

No. 929

企業

# zoom up

## 中央パッケージング工業

誇りを胸に、変革を力に

アパレルメーカーでは、中国での人件費・資材価格の高騰、環境規制の強化により、東南アジアに生産拠点を移す動きが散見される。そのなかでもバングラデシュは、シンガポールなどの面積の小さい国を除くと人口密度が世界でもトップクラスの高さで、人件費の割に縫製技術が高いことで注目を集めている。今回紹介する中央パッケージング工業(株)は、ハンガー陳列のパイオニアとして60年近い業歴を有する企業。売り場の企画から個別商品のパッケージ企画・デザイン、付随するハンガー、包装資材の販売を総合的に手がけてきた。そして、同業他社に先駆けてバングラデシュに進出し、服飾副資材や商品パッケージを供給することで、アパレルメーカーのチャイナプラスワンの動きを支援している。

当社がバングラデシュに進出したのは「大手ベビー用品メーカーからの要請に真っ先に手を挙げたことがきっかけです」(菅野社長)。常務の三橋氏が中心となり、2013年10月にバングラデシュに事業所を開設した。服飾副資材を製造できる現地の協力工場の開拓を進めたが、「日本レベルの品質による納期通りの供給に苦労しました」(三橋常務)。現地工場は、ヨーロッパ向けの供給実績はあったものの「日本向けは当時少なく品質面で劣り、多品種小ロットへの対応も不十分でした。また、雨季は水はけが悪く道路が封鎖されるなどインフラ面の問題も抱え、納期が遅れるリスクもありました」(同)。そのため三橋常務は現地の協力業者を毎月訪問。日本品質の商品を供給するメリットを訴求し、機械設備の提案、材料の調達、検品の仕組みまで指導を行い、品質レベルの引き

菅野社長(左)と三橋常務(右)



上げに成功した。「当社はこれまで国内や中国で服飾副資材やパッケージの供給を続けてきた実績があり、協力工場の品質管理ノウハウを有していることは一つの強みです」(菅野社長)

2017年3月にタイ、5月に中国、8月にはバングラデシュに現地法人を設立。服飾副資材だけではなく、フィルムパッケージなどグラビア印刷製品、紙器などのオフセット印刷製品、梱包資材の供給も手がけている。特にバングラデシュについては現地事情を熟知していることから「現地に進出したい企業への情報提供や進出支援を今後強化していきたいと考えています」と菅野社長は語る。これからの当社のテーマは「異業種への展開」「グローバル展開の強化」だという。日本、上海、香港、タイ、バングラデシュに有する拠点と培ったノウハウを生かし、業界の垣根を越え多くの企業の東南アジア進出を支援していく当社の今後に期待したい。

(取材・文/堺支店調査第1部 西崎 晃輔)

### 会社概要

中央パッケージング工業(株)  
 TDB企業コード: 580494191  
 法人番号: 8122001022061  
 大阪府八尾市久宝園1-82-2  
 電話: 072-925-2111  
 東京支店: 東京都中央区東日本橋2-8-5  
                   東日本橋グリーンビルアネックス2階  
 東京支店電話: 03-5822-3610  
 代表: 菅野 充基 氏  
 設立: 1961年6月 資本金: 6000万円  
 事業内容: アパレル向けを中心としたパッケージ、  
                   展示用ハンガー企画、販売  
 年売上高: 約29億8100万円(2018年1月期)